

# I 宮崎県特別支援教育研究連合組織

1

# 県特研連について

宮崎県特別支援教育研究連合  
(略称: 県特研連)

2

小・中学校特別支援教育研究会  
(略称: 小中特研)

+

特別支援学校教育研究会  
(略称: 特支研)

3

## 県特研連とは

宮崎県の特別支援教育を推進するための研究団体

### ・規約 第二章 目的

特別支援学校と特別支援学級並びに通級指導教室（以下「特別支援学級等」という）を設置する小学校・中学校相互の連携を緊密にするとともに、特別支援教育に関する実践研究・調査及び特別支援教育の充実・振興を図ることを目的とする。

4

県特研連は2つの部会で構成されています

エリア部会	障がい種別教育研究部会
・地域の特別支援教育について研究を行う。	・障がい種別の教育研究を行う。

## 主な活動

- ① 各部会ごとの研修会等
- ② 研究大会（県全体 2年に1回）

5

県特研連大会 主題（2022年から10年間の大会主題）

## 新しい時代の生きる力をはぐくむ みやぎきの特別支援教育

### 主題設定の理由

- ① 時代背景 → 新しい時代
- ② 特別支援教育の時代背景 → インクルーシブ教育システム
- ③ 学習指導要領（文部科学省）「生きる力 学びの、その先へ」  
…目指すのは「社会に開かれた教育課程」の実現
- ④ みやぎき特別支援教育推進プラン（宮崎県教育委員会・平成30年度）  
具体的な施策  
「子ども一人一人の学びのニーズに応じた質の高い教育支援システムの構築」

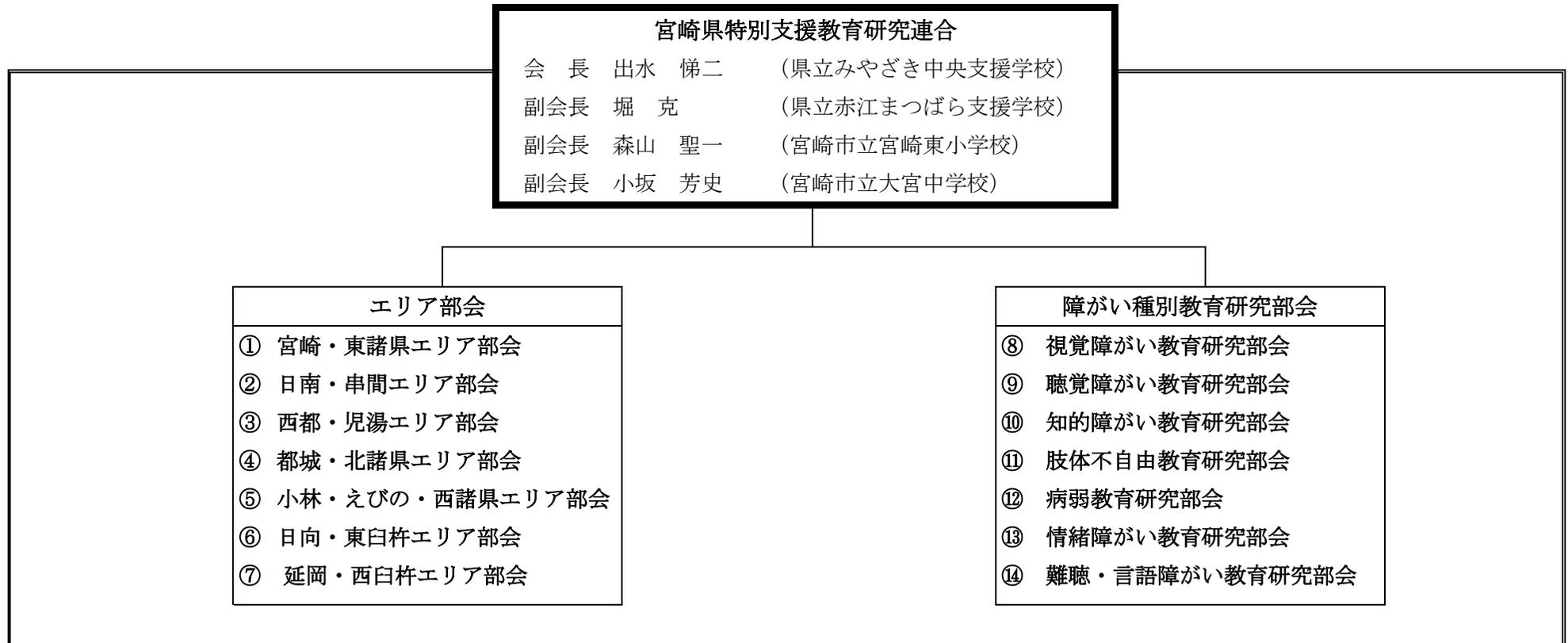
6

## 大会のローテーション

5年度		25回大会準備期間
6年度	25回	北部（延岡しろやま支援学校）
7年度		26回大会準備期間
8年度	26回	南部（都城きりしま支援学校）
9年度		27回大会準備期間
10年度		27回大会準備期間
11年度（仮）		27回大会準備期間
12年度（仮）	27回	中部（日南くろしお支援学校）
13年度（仮）		28回大会準備期間
14年度（仮）	28回	北部（日向ひまわり支援学校）

令和7年度 研究組織

(1) 組織の全体



\* 組織について

本連合は、宮崎県小・中学校特別支援教育研究会（小・中特研）と宮崎県特別支援学校教育研究会の連合体である。連合体であることにより県教委公認の研究団体として認められ、研修出張や共催・後援等が可能になる。

【参考】

ア 宮崎県小・中学校特別支援教育研究会

事務局：宮崎市立宮崎小学校、宮崎市立赤江小学校、三股町立三股中学校  
 各地区：①宮崎地区 ②東諸県地区 ③日南地区 ④串間地区 ⑤都北地区  
 ⑥西諸県地区 ⑦西都地区 ⑧東児湯地区 ⑨日向地区 ⑩延岡地区  
 ⑪西臼杵地区

イ 宮崎県特別支援学校教育研究会

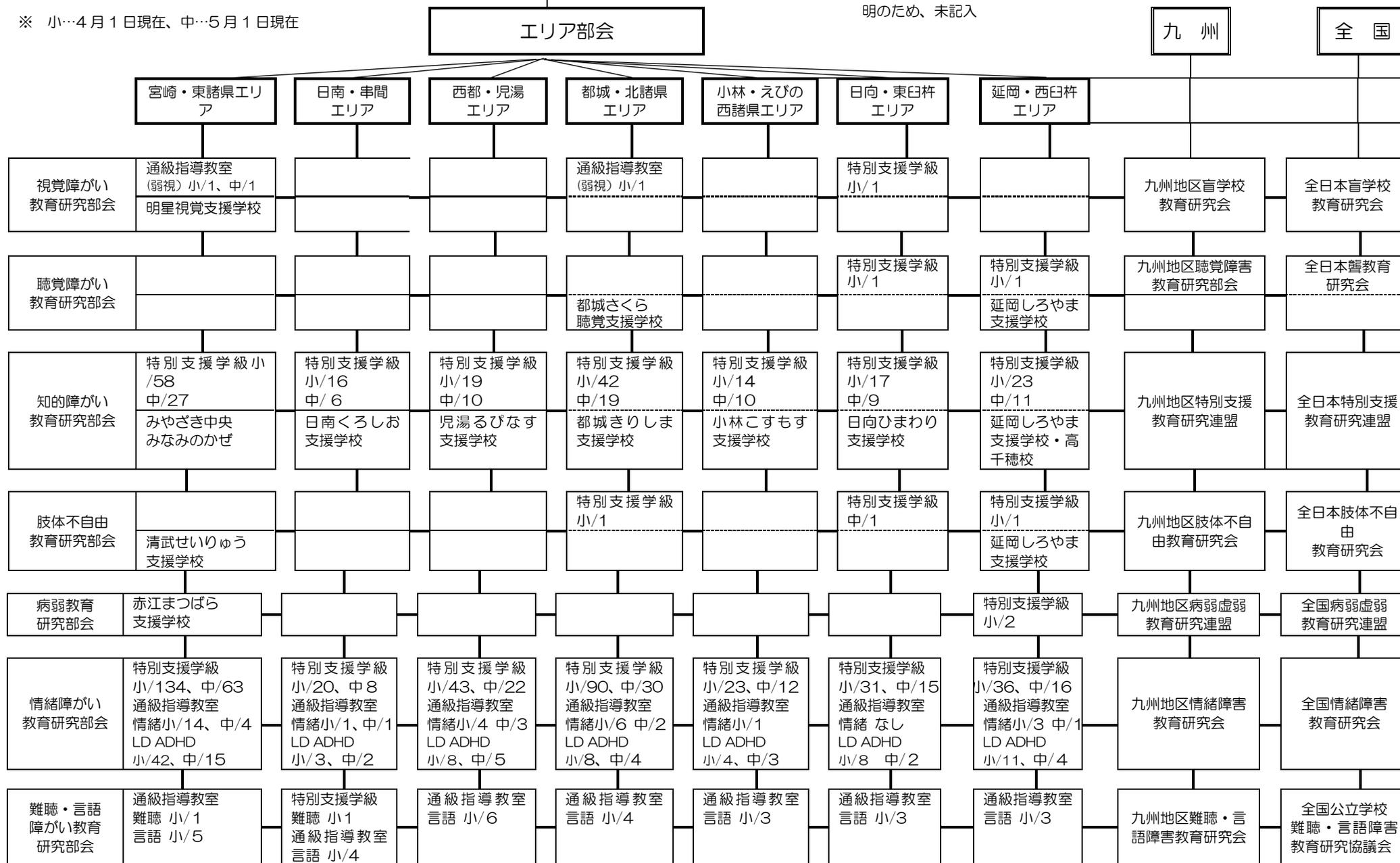
事務局：赤江まつばら支援学校  
 各部会：①教務主任部会 ②生徒指導主事部会 ③保健主事・養護教諭部会  
 ④進路指導主事部会 ⑤栄養教諭・学校栄養職員部会 ⑥美術科代表者部会  
 ⑦音楽科代表者部会 ⑧保健体育科代表者部会 ⑨家庭科代表者部会  
 ⑩自立活動代表者部会 ⑪情報教育代表者部会

(2) 令和7年度

宮崎県特別支援教育研究連合

※ 西都・児湯エリア…2名が障がい種(弱視、肢体、病弱、難聴)不明のため、未記入

※ 小…4月1日現在、中…5月1日現在



○関係機関(九州・全国等の組織)との連携を図る(障がい種別教育研究部会)

宮崎県特別支援教育研究連合 障がい種別教育研究部会		九州地区各障害種別研究会	全国各障害種別研究会
視覚障がい教育研究部会		九州地区盲学校教育研究会	全日本盲学校教育研究会
聴覚障がい教育研究部会		九州地区聴覚障害教育研究会	全日本聾教育研究会
知的障がい教育研究部会		九州地区特別支援教育研究連盟	全日本特別支援教育研究連盟
肢体不自由教育研究部会		九州地区肢体不自由教育研究会	全国肢体不自由教育研究会
病弱教育研究部会		九州地区病弱虚弱教育研究連盟	全国病弱虚弱教育研究連盟
情緒障がい教育研究部会		九州地区情緒障害教育研究会	全国情緒障害教育研究会
難聴・言語障がい教育研究部会		九州地区難聴・言語教育研究会	全国公立学校難聴・言語障害教育研究協議会

図 2 : 障がい種別教育研究部会と関係機関との連携